

町指定文化財

2 木造 あきばだいごんげんぞう 秋葉大権現像



岩上の白狐を踏まえ忿怒の形相も懐く、右手に剣、左手に索縄を持ち、火炎を背負っている姿は見るものをして恐怖の念をいだかせます。

背面の「金子弼寄附金城南為隆」の銘から、天明年間（1781～1788）前後頃に名古屋で活躍した彫刻家“為隆”の作品を豊明市大久手在住の金子弼が寄附したものと考えられます。